

平和館ミニ企画展
「戦後 80 年 チャンギから考える：未来のための過去との付き合い方」
を開催します

川崎市平和館では、戦後 80 年という節目の年である本年度の企画展・ミニ企画展の共通テーマを「未来のための過去との付き合い方」としており、ミニ企画展ではシンガポール・チャンギ刑務所を視点とした展示を行います。

チャンギ刑務所は、戦中は捕虜収容所として日本軍によって使用され、戦後は日本の戦犯の裁判が行われ、刑が執行された場所です。

ミニ企画展では、同刑務所で戦後に^{きょうかいし}教誨師を務めた^{せきぐちりょうきょう}関 口 亮 共 氏（川崎区明長寺住職）と^{みょうちやうじ}田中 日 淳 氏（^{しょうえいいん}大田区照栄院住職）が遺した、戦犯として裁かれた人々の遺書の写しや、遺族からの書簡などを展示するとともに、日本統治時代のシンガポールも併せて解説し、様々な痛みの記憶への向き合い方を来場者とともに考えます。

- 1 期 間 令和 7 年 6 月 14 日（土）～ 7 月 13 日（日）9 時から 17 時まで
- 2 休 館 日 毎週月曜日、6 月 17 日（火）
- 3 会 場 川崎市平和館 屋内広場（川崎市中原区木月住吉町 33-1） ※入場無料
- 4 内 容
 - （1）パネル展示
戦中戦後のチャンギの概説や、遺書を残した人々の裁判記録などのパネル展示
 - （2）現物資料展示
戦犯として裁かれた人々の遺書の写しや、遺族の関口氏宛の書簡など
- 5 主 催 川崎市平和館
- 6 協 力 明長寺（川崎区大師本町）、照栄院（大田区池上）
- 7 アクセス JR 南武線、JR 横須賀線、東急東横線・目黒線「武蔵小杉駅」、東急東横線・目黒線「元住吉駅」から徒歩約 10 分

問合せ先
川崎市市民文化局平和館 亀山
電 話 044-433-0171

戦後80年 チャンギから考える 未来のための 過去との付き合い方



遺族から関口氏への手紙

【資料提供: 明長寺】



戦犯とされた人々が処刑されたチ
ャンギの絞首台

【写真提供: AUSTRALIAN WAR
MEMORIAL】



田中氏が書き写した、戦犯とされた人々の遺書

【写真提供: 照栄院】

令和7年 6月14日(土)~7月13日(日) **入場無料**

毎週月曜日と6月17日(火)は閉館

開館時間: 午前9時~午後5時

世界有数の空港で有名なシンガポール・チャンギには、植民地支配の時代、イギリスにより刑務所が作られました。チャンギ刑務所は、戦時中、シンガポールを占領した日本軍によって捕虜収容所として使われ、戦後は日本の戦犯を裁判にかけ、処刑する場所として使われました。

平和館では、戦後80年の節目に、様々な痛みの集合的記憶を持つ、チャンギ刑務所を視点としたミニ企画展を開催します。

戦犯の教誨師を務めた故関口亮共氏(戦後に川崎区、明長寺住職)と、田中日淳氏(戦後に大田区、照栄院住職)が遺した、戦犯として裁かれた人々や遺族との間で交わされた書簡、戦犯となった人々の遺書の写しなどを展示します。

併せて、現地の人々から見た日本軍占領時代のシンガポールについての概説も行い、未来の平和を作るための、様々な痛みの集合的記憶とのつき合い方を、来場者とともに考えます。



川崎市平和館

川崎市中原区木月住吉町
33-1

TEL: 044-433-0171
FAX: 044-433-0232

【交通】

JR線・東急線「武蔵小
杉駅」東急線「元住吉
駅」から徒歩約10分